

仲間同士で協力し、助け合える集団づくり

～場面リーダーの育成とメッセージカードの活用を通して～

生徒指導・教育相談班

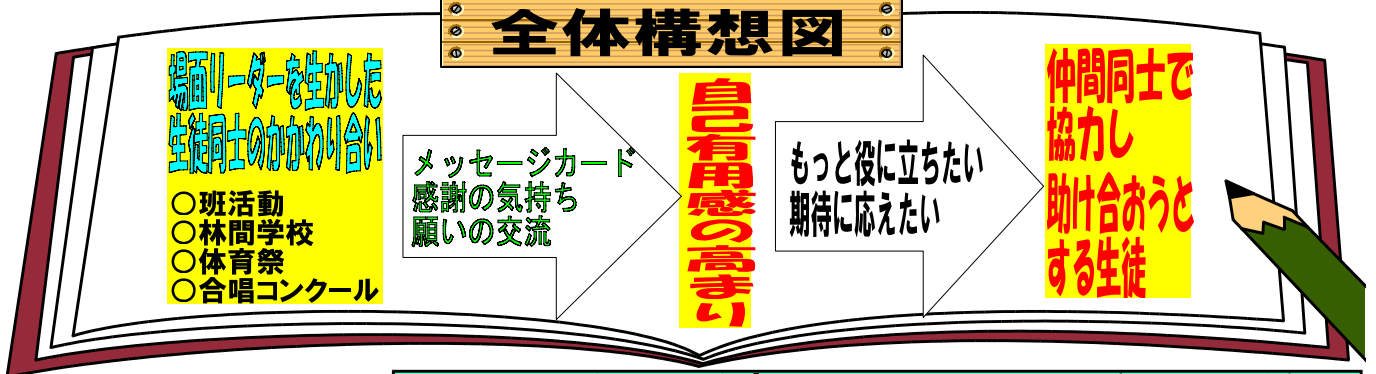
星野 哲也(中学校教諭)

研究の概要

いじめや不登校の多くは、人間関係に起因している。そして特に、自分に自信がない、自分はどうなってもいい、というような自己有用感の低い生徒ほど、こういった問題に直面する可能性が高い。そこで本研究では、「生徒が自分のよさを他から認められ、自分は学級の中で役に立っている、必要とされているという気持ちをもつこと」を自己有用感とらえ、以下の実践を通して自己有用感を高めていくことで、仲間同士で協力し、助け合える集団を作ろうと考えた。

- **場面リーダー**として活躍できる場の設定
- **メッセージカード**を活用した気持ちの交流

全体構想図



場面リーダーとは・・・

他の生徒の先頭となって活動するだけでなく、「生徒が持っている共感的にケアするという潜在能力」を引き出して、得意ことやよさを生かし、仲間のために力を発揮しようとする生徒とらえる。

メッセージカードとは・・・

お互いの感謝の気持ちや願いを交流させるため、生徒一人一人が他の生徒のことを書いて交換し合うカード。または、それを受け取った生徒が自分の気持ちを書いたカードである。

